



清須市商工会

2017 年度

第 1 回中小企業景況調査報告書



中小企業景況調査報告書（清須市概略版）

市場情報評価ナビ（MieNa/ミーナ）のご活用について

中小企業施策のご案内（早期経営改善計画策定支援事業）

中小企業景況調査について

1 調査目的

この調査は、四半期毎に清須市商工会が行う中小企業景況調査から、同地区内における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2 調査要領

(1) 調査対象時期

平成29年4月から6月の第1四半期を対象とし、調査時点は平成29年7月31日。

(2) 調査対象企業






清須市商工会地区内100企業。

内訳は、製造業21企業、建設業18企業、小売業21企業、飲食業17企業、サービス業23企業。

(3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書の中のDIとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各項目調査についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については下記の通り。

雨	曇りのち雨	曇り	晴れのち曇り	晴れ
				
△100.0～△60.1	△60.0～△20.1	△20.0～20.0	20.1～60.0	60.1～100.0

中小企業景況調査報告書(清須市概略版)

(平成29年4月～6月期実績、平成29年7月～9月期見通し)

1 清須市商工会地区内における産業全体景況

「売上額」「資金繰り」「採算」すべての指標が悪化

今期の産業全体の景況は、売上額DIが-32.0、採算DIが-23.0、資金繰りDIが-15.0となり、対前期比でそれぞれ-10.0ポイント、-8.0ポイント、-2.0ポイントとすべての指標が悪化した。特に売上高DIと資金繰りDIは2期連続でマイナスとなった。

次期は、売上高DI、採算DIで好転する見通し、資金繰りDIは横ばいの見通しである。

業種別では、サービス業だけがすべての指標で上昇している。逆に、製造業と飲食業はすべての指標が悪化しており、DI値も低く、厳しい状況がうかがえる。

産業全体の主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	-32.0% (対前期比 -7.0悪化)	次期予想	-29.0% (対前期比 -10.0悪化)
・採算DI	-23.0% (対前期比 -1.0悪化)	次期予想	-20.8% (対前期比 -0.8悪化)
・資金繰りDI	-15.0% (対前期比 -6.0悪化)	次期予想	-15.0% (対前期比 3.0好転)

産業全体景況天気図

総評



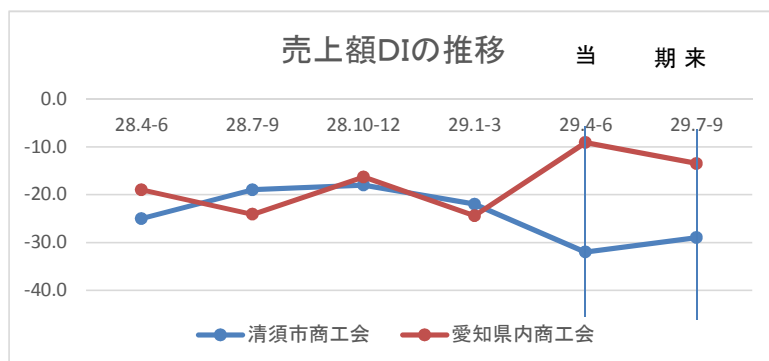
時期	売上額DI	採算DI	資金繰りDI
28年4月～6月	-25.0%	-22.0%	-9.0%
28年7月～9月	-19.0%	-20.0%	-18.0%
28年10月～12月	-18.0%	-23.0%	-12.0%
29年1月～3月 (前期)	-22.0%	-15.0%	-13.0%
29年4月～6月 (今期)	-32.0%	-23.0%	-15.0%
29年7月～9月 (見通し)	-29.0%	-20.8%	-15.0%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

2 愛知県内商工会(愛知県内)と清須市商工会(清須市)との比較

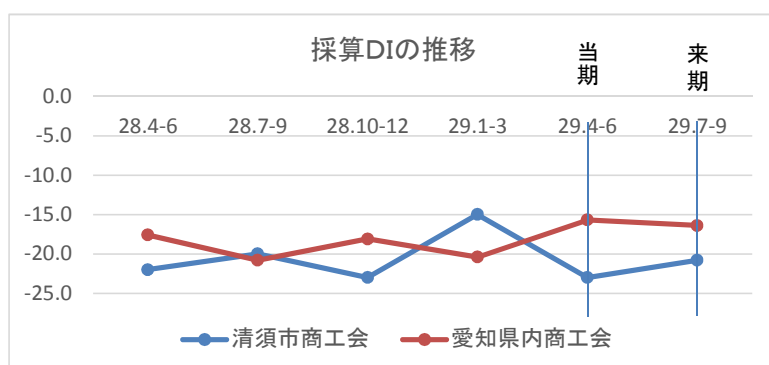
①売上額DI

29年1-3月期までは同等の水準であったが、29年4-6月期に大きく差が開いた。
直近、愛知県内は大きく改善しているが、清須市は一段と悪化している。



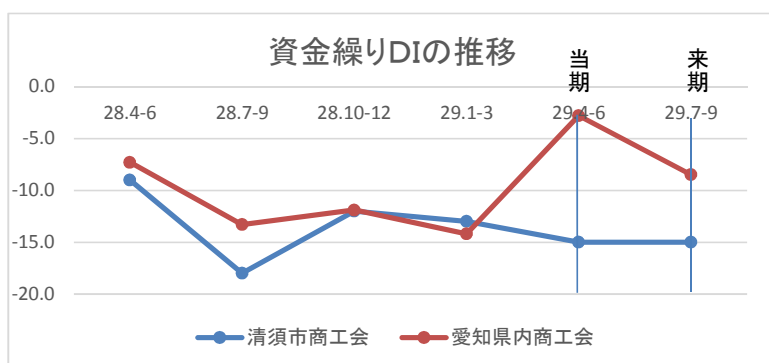
②採算DI

29年4-6月期まで毎期クロスしながらも比較的拮抗している。



③資金繰りDI

29年1-3月期までは同等の水準であったが、29年4-6月期に大きく差が開いた。
直近、愛知県内は大きく改善しているが、清須市は悪化傾向である。



【全産業平均】

売上額DIの推移

時期	28.4-6	28.7-9	28.10-12	29.1-3	当期 29.4-6	来期 29.7-9
清須市商工会	-25.0	-19.0	-18.0	-22.0	-32.0	-29.0
愛知県内商工会	-19.0	-24.1	-16.3	-24.4	-9.1	-13.5

採算DIの推移

時期	28.4-6	28.7-9	28.10-12	29.1-3	29.4-6	29.7-9
清須市商工会	-22.0	-20.0	-23.0	-15.0	-23.0	-20.8
愛知県内商工会	-17.6	-20.8	-18.1	-20.4	-15.7	-16.4

資金繰りDIの推移

時期	28.4-6	28.7-9	28.10-12	29.1-3	29.4-6	29.7-9
清須市商工会	-9.0	-18.0	-12.0	-13.0	-15.0	-15.0
愛知県内商工会	-7.3	-13.3	-11.9	-14.2	-2.8	-8.5

※愛知県内商工会の数値は、愛知県商工会連合会が作成する中小企業景況調査報告書(愛知県概略版)から引用

3 業種別景況

(1) 製造業

製造業は「売上額」「採算」「資金繰り」すべての指標が悪化

製造業では、売上額DIが-57.1、採算DIが-52.4、資金繰りDIは-33.3となり、対前期比でそれぞれ-32.1ポイント、-17.4ポイント、-13.3ポイントと大幅に悪化した。前年同期と比較しても大幅に悪化している。

前期は、売上額DIと採算DIが改善、資金繰りDIは横ばいを示していたが、今期は一転悪化した。年間を通してみると良し悪しの波はあるが、製造業全般的に低迷していることがうかがえる。

次期は、売上高DIと採算DIが好転する見通し、資金繰りDIは横ばいの見通しである。

産業全体の主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	-57.1% (対前期比-17.1悪化)	次期予想	-28.6% (対前年比 31.4好転)
・採算DI	-52.4% (対前期比-17.4悪化)	次期予想	-25.0% (対前年比 15.0好転)
・資金繰りDI	-33.3% (対前期比-18.3悪化)	次期予想	-33.3% (対前期比 -3.3悪化)

製造業景況天気図

総評



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
28年4月～6月		-40.0%		-35.0%		-15.0%
28年7月～9月		-60.0%		-40.0%		-30.0%
28年10月～12月		-35.0%		-40.0%		-20.0%
29年1月～3月 (前期)		-25.0%		-35.0%		-20.0%
29年4月～6月 (今期)		-57.1%		-52.4%		-33.3%
29年7月～9月 (見通し)		-28.6%		-25.0%		-33.3%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(2) 建設業

建設業は「売上額」「採算」が悪化、「資金繰り」は横ばい

建設業では、売上額DIが-33.3、採算DIが-16.7となり、対前期比でそれぞれ-18.3ポイント、-26.7ポイント、大幅に悪化した。資金繰りDIは0.0で横ばいである。前年同期比では、すべての指標が大幅に悪化している。

前期は、売上額DIと採算DIが好転していたが、今期は一転悪化している。資金繰りDIは3期連続で0.0と安定している。年間を通してみると、徐々に悪化の方向に向かっていることがうかがえる。

次期は、売上額DIと採算DIが更に悪化、資金繰りDIもマイナスに転じ、すべての指標が悪化する見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	-33.3% (対前年比 -33.3悪化)	次期予想	-44.4% (対前年比 -14.4悪化)
・採算DI	-16.7% (対前年比 -11.7悪化)	次期予想	-27.8% (対前年比 -12.8悪化)
・資金繰りDI	0.0% (対前年比 -10.0悪化)	次期予想	-11.1% (対前年比 3.9好転)

建設業景況天気図

総評



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
28年4月～6月		0.0%		-5.0%		10.0%
28年7月～9月		-30.0%		-15.0%		-15.0%
28年10月～12月		-25.0%		-10.0%		0.0%
29年1月～3月 (前期)		-15.0%		10.0%		0.0%
29年4月～6月 (今期)		-33.3%		-16.7%		0.0%
29年7月～9月 (見通し)		-44.4%		-27.8%		-11.1%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(3)小売業

小売業は「売上額」が悪化、「採算」「資金繰り」は好転

小売業では、売上額DIが-33.3となり、対前期比で-8.0ポイントと悪化した。採算DIは-14.3、資金繰りDIも-14.3となり、対前期比でそれぞれ0.7ポイント、5.7ポイント好転した。前年同期比では、すべての指標が好転している。

前期は、採算DIと資金繰りDIが好転していたが、今期は更に上昇している。売上高DIは前期が横ばい、今期は悪化している。全体を通してみると、売上高確保の厳しさの中で、採算面で努力していることがうかがえる。

次期は、売上額DIが横ばい、採算DIが悪化、資金繰りDIは好転する見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	-33.3% (対前期比 6.7好転)	次期予想	-33.3% (対前年比-23.3悪化)
・採算DI	-14.3% (対前期比 25.7好転)	次期予想	-19.0% (対前年比 1.0好転)
・資金繰りDI	-14.3% (対前期比 0.7好転)	次期予想	-9.5% (対前年比 10.5好転)

小売業景況天気図

総評



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
28年4月～6月		-40.0%		-40.0%		-15.0%
28年7月～9月		10.0%		-20.0%		-20.0%
28年10月～12月		-25.0%		-20.0%		-25.0%
29年1月～3月 (前期)		-25.0%		-15.0%		-20.0%
29年4月～6月 (今期)		-33.3%		-14.3%		-14.3%
29年7月～9月 (見通し)		-33.3%		-19.0%		-9.5%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(4) 飲食業

飲食業は「売上額」「採算」「資金繰り」すべての指標が悪化

飲食業では、売上額DIが-35.3、採算DIが-52.9、資金繰りDIが-35.3となり、対前期比でそれぞれ-0.3ポイント、-22.9ポイント、-15.3ポイントとすべての指標が悪化した。特に採算DIと資金繰りDIが大きく悪化している。前年同期比では、売上高DIは好転しているものの、採算DIと資金繰りDIは悪化している。

前期は、売上高DIが悪化、採算DIは改善、資金繰りDIは横ばいとなっていたが、今期は全ての指標が悪化した。全体を通してみると、DI値が低く苦しい状況がうかがえる。



















次期は、売上額DIと資金繰りDIが大幅に悪化する見通し、採算DIは若干改善する見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	-35.3% (対前期比 4.7好転)	次期予想	-64.7% (対前期比 -29.7悪化)
・採算DI	-52.9% (対前期比 -22.9悪化)	次期予想	-52.6% (対前期比 -17.6悪化)
・資金繰りDI	-35.3% (対前期比 -10.3悪化)	次期予想	-41.2% (対前期比 -26.2悪化)

飲食業景況天気図



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
28年4月～6月		-40.0%		-30.0%		-25.0%
28年7月～9月		-35.0% ↗		-35.0% ↘		-15.0% ↗
28年10月～12月		-20.0% ↗		-50.0% ↘		-20.0% ↘
29年1月～3月 (前期)		-35.0% ↘		-30.0% ↗		-20.0% ⇐
29年4月～6月 (今期)		-35.3% ↘		-52.9% ↘		-35.3% ↘
29年7月～9月 (見通し)		-64.7% ↘		-52.6% ↗		-41.2% ↘

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(5) サービス業

サービス業は「売上額」「採算」「資金繰り」すべてが好転

サービス業では、売上額D Iが-4.3、採算D Iが13.0、資金繰りD Iが4.3となり、対前期比でそれぞれ5.7ポイント、18.0ポイント、9.3ポイントとすべての指標が好転した。前年同期と比較しても、すべての指標が好転している。

前期は、すべての指標が悪化していたが、今期は、すべての指標が好転した。全体を通してD I値は比較的安定しており、全業種の中で最も良い数値である。

次期は、さらに売上額D Iと資金繰りD Iが上昇する見通し、採算D Iは横ばいの見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	-4.3% (対前年比 0.7好転)	次期予想	13.0% (対前年比 -7.0悪化)
・採算DI	13.0% (対前年比 13.0好転)	次期予想	13.0% (対前年比 3.0好転)
・資金繰りDI	4.3% (対前年比 4.3好転)	次期予想	13.0% (対前年比 23.0好転)

サービス業景況天気図

総評



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
28年4月～6月		-5.0%		0.0%		0.0%
28年7月～9月		20.0%		10.0%		-10.0%
28年10月～12月		15.0%		5.0%		5.0%
29年1月～3月 (前期)		-10.0%		-5.0%		-5.0%
29年4月～6月 (今期)		-4.3%		13.0%		4.3%
29年7月～9月 (見通し)		13.0%		13.0%		13.0%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

4 経営上の問題点

今期、直面している経営上の問題点を業種別に示したものである。

業種別に特徴はあるものの、「需要の停滞」、「顧客ニーズの変化への対応」が共通して入っている。

業種	順位	問題点	割合
製造業	1位	製品(加工)単価の低下・上昇難	22.0%
	2位	民間需要の停滞	14.6%
	2位	製品ニーズの変化への対応	14.6%
建設業	1位	請負単価の低下・上昇難	16.7%
	2位	材料価格の上昇	12.5%
	2位	取引条件の悪化	12.5%
小売業	1位	民間需要の停滞	25.0%
	2位	消費者ニーズの変化への対応	16.7%
	3位	大型店・中型店の進出による競争の激化	11.1%
飲食業	1位	材料等仕入単価の上昇	22.5%
	2位	需要の停滞	20.0%
	3位	利用者ニーズの変化への対応	17.5%
サービス業	1位	従業員の確保難	18.9%
	2位	新規参入業者の増加	10.8%
	2位	利用者ニーズの変化への対応	10.8%

5 取り組むべき経営課題

問題解決に向けて、取り組むべき経営課題を全産業平均及び業種別に示したものである。

特徴は、全産業平均で「販路開拓」が34.1%となっており、多くの企業が課題であると考えている。

その中でも小売業は50.0%、製造業は40.9%と高い比率を示している。

業種	順位	経営課題	割合
製造業	1位	販路開拓	40.9%
	2位	コスト削減	18.2%
	3位	人材募集	13.6%
建設業	1位	コスト削減	46.2%
	2位	人材募集	23.1%
	3位	販路開拓	15.4%
小売業	1位	販路開拓	50.0%
	2位	人材募集・コスト削減・新製品開発(同率)	14.3%
	3位	現場改善	7.1%
飲食業	1位	販路開拓	36.8%
	2位	人材募集	21.1%
	3位	コスト削減・新製品開発(同率)	15.8%
サービス業	1位	人材募集	31.8%
	2位	販路開拓	27.3%
	3位	設備投資・コスト削減・現場改善(同率)	13.3%
全産業平均	1位	販路開拓	34.4%
	2位	人材募集	21.1%
	3位	コスト削減	20.0%

無料でご利用いただけます！



市場情報評価ナビ (MieNa/ ミーナ)

地域特性が『評価』され
見ればわかる『可視化レポート』



<清須市商工会で導入している MieNa（市場情報評価ナビ）のご活用について>

清須市商工会の会員事業所であれば、清須市商工会事務所にて、無料で商圈分析レポートの発行ができます。

・ MieNa（市場情報評価ナビ）とは何ができるの？

商圈分析ができます

創業や新たな出店・経営計画策定の際、皆様の商品やサービスが対象となる市場においてどの程度利用者数や売上が見込めるのか、この問いに答えるために、以下のような商圈分析【エリアマーケティング】を行うことは、非常に重要なステップといえるでしょう。

① 商圈特性を詳しく知りたい！

- ・ どんな人が住んでいるの？
- ・ 何を、どの位、購入しているの？
- ・ どんな事業所（事務所）があるの？ . . . etc.



② 現状を検証・分析したい！

- ・ 自社（店）の商圈を検証したい
- ・ 出店予定地の立地環境を検証したい
- ・ 自社の店舗網を検証したい
- ・ 競合店との比較検証をしたい . . . etc.



ところが、小規模事業の場合、時間やノウハウがないことから、あきらめざるを得ないのが実情です。

これらの課題を簡単に解決できるのが、清須市商工会事務所にて、無料でご利用いただける、「市場情報評価ナビ MieNa（ミーナ）」です。このデータベースを利用すれば、清須市を含む、愛知県内の町丁毎の商圈分析レポートを入手することができます。

<ご利用方法>

商圈分析レポートの発行を希望される方は事務局までご連絡ください。

清須市商工会 清須市清洲 1-6-1 TEL052-400-3008

【中小企業支援策のご紹介】

平成29年5月29日～ 早期経営改善計画策定支援

資金繰り管理や採算管理等の 早期の経営改善を支援します

専門家の力を借りて自己の経営を見直しませんか？

国が認める士業等専門家の支援を受けて資金実績・計画表やビジネスモデル俯瞰図など早期の経営改善計画書を策定する場合、専門家に対する支払費用の2/3（上限20万円まで※）を負担する事業を実施します。

※モニタリング費用を含む

特徴！

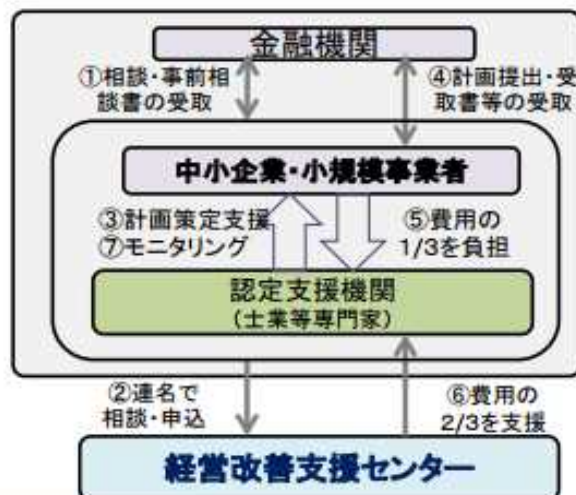
- ① 条件変更等の金融支援を必要としない、簡潔な計画です
- ② 計画策定から1年後、フォローアップで進捗を確認できます
- ③ 計画を策定することで自社の状況を客観的に把握できます
- ④ 必要に応じ本格的な経営改善や事業再生の支援策をご紹介します

—こんな方にお勧めです—

今のところ返済条件等の変更は
必要無いが、

- こここのところ、資金繰りが不安定だ
- よくわからないが売上げが減少している
- 自社の状況を客観的に把握したい
- 専門家等から経営に関するアドバイスが欲しい
- 経営改善の進捗についてフォローアップをお願いしたい

(利用イメージ図)



まずは最寄りの商工会等の認定支援機関までお問い合わせください。



発行：清須市商工会（認定支援機関）
〒452-0942 愛知県清須市清洲一丁目6番地1
TEL(052)400-3008 FAX(052)400-8484
Email kiyosu@aqua.ocn.ne.jp
URL <http://www.kiyosu.net>

制作：コタケ経営合同会社（認定支援機関）
〒452-0945 愛知県清須市土田二丁目9番地2
TEL(052)740-0359 FAX(052)710-9438
Email customar@kotakekeiei.co.jp
URL <http://www.kotakekeiei.co.jp>